

はじめに



少子高齢化や経済のグローバル化、ライフスタイルの多様化など、近年の社会経済情勢の大きな変化の中、豊かで活力ある社会を築いていくためには、性別にかかわらず、全ての人が個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現がますます重要になってきております。

宜野湾市では、平成 16 年に第 2 次男女共同参画計画（はごろもぷらん）を策定し、平成 21 年には第 2 次計画の改定を行いながら、総合的かつ計画的に男女共同参画の推進に取り組んできました。

これまでに、人材育成交流センターめぶき開設（平成 15 年）、男女共同参画支援センターふくふく開設（平成 26 年）などの環境整備を進めたほか、男女共同参画に関する意識啓発、子育てや雇用、教育の分野など全庁をあげて幅広い取り組みを行っているところです。

しかし、平成 26 年に実施した市民意識調査によると、男女平等に関する意識では、男性が優遇されているとする割合が 7 割を超えており、また、男性の仕事中心の生き方や家事責任の女性への偏重等を背景に、ワーク・ライフ・バランスに関する希望と現実の乖離も見られるなど、男女共同参画社会の実現に向けて、多くの課題が残されています。

この度、第 2 次計画の期間終了にあたり、今までの取り組みを評価・点検するとともに、意識調査や市の現状分析、さらに近年の国や県の動向等を踏まえ、新たに第 3 次宜野湾市男女共同参画計画（はごろもぷらん）を策定しました。

この計画では、男女がともに能力を発揮するための意識と環境づくりに取り組むほか、「DV（配偶者等からの暴力）等の根絶に向けた取り組みの推進」を盛り込み、社会情勢の変化に伴う新たな課題にも対応するなど、男女共同参画のより一層の推進を図る内容としています。

今後、本計画の推進にあたりましては、国、県との連携はもとより、市民、事業者、教育関係者の皆様と市が協働して取り組んでいくこととなります。皆様のより一層のご理解とご協力をお願いします。

最後に、本計画の策定にあたりまして、数多くのご提言をいただきました「宜野湾市男女共同参画会議」の委員の皆様をはじめ、関係各位に心からお礼申し上げます。

平成 27 年 4 月

宜野湾市長 佐喜眞 淳